

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 京都府立北桑田高等学校 】

1 実践テーマ	【 Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ 】
2 実施対象者	本校生徒 171名 PTA会員 8名 本校教職員 15名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 行事名（ホームルーム） ② その他（PTA研修会）
4 目標 (ねらい)	オリンピック・パラリンピックの目的や意義を理解し、スポーツへの興味関心と、生涯をとおしてスポーツに親しむ意識を高める。自ら目標を掲げ、それに向けて地道に努力することが成功の必要条件であり、他者との競い合いや協力が十分条件になることを意識させる。
5 取組内容	1 事前学習 (1) 保健体育科の授業において、オリンピック・パラリンピックの歴史や意義、目的等についての理解促進 2 講演会・実技指導 (1) 海外の大会で活躍した自転車競技選手による講演 12月17日(金) 13:40~15:00 講師；栗村 修 氏 一財)日本自転車普及協会主幹調査役、ツアー・オブ・ジャパン大会ディレクター (2) 本校自転車競技部生徒への実技指導 12月17日(金) 15:30~17:00 講師；栗村 修 氏 3 事後学習 (1) 振り返り；感想文・お礼状の作成・送付 4 スケジュール (1) 9月 講師選定・派遣交渉 (2) 10月 PTA との共催の確認 (3) 11月 事前学習、会場選定・確保 (4) 12月 実施・事後学習 (5) 1月 感想文・お礼状送付
6 主な成果	講演において栗村氏は、高校を2年で中退し、単身渡欧してロードのプロ自転車競技選手になるべくツアーレースへの参戦を目指して努力を続けた来歴を語られた。その経験から「努力はいつ報われる

	<p>か分からないが、必ず報われる」と話され、生徒たちは自身が置かれている状況になぞらえて聞き入っていた。</p> <p>また、スポーツをする上で重要なことは、「人と比べない」、「小さな積み重ねが大きな成果を生む」、「楽しむ心と感謝の気持ちを忘れない」、「人生には近道も、回り道もない」と説かれた。これらの言葉が多くの生徒の心に深く刻まれ、今後の部活動や学校生活、自分たちの人生において重要な指針となるようなインパクトがあった。</p> <p>講演後、本校自転車競技部の練習において部員に対して練習方法や技術指導だけでなく、体のケアの方法や怪我・故障の回避法、栄養摂取、本番に臨む上でのメンタル面の指導もいただいた。すでに引退した3年生も多くが参加し、今後の自転車競技を続けていくことへの覚悟をさらに強固なものにしていた。</p> <p>PTA 会員からは、スポーツをすることは生きることには他ならないといった感想が寄せられた。また、親の立場から高校を中退してまで夢を追いかけることの是非について、会員同士で意見を交わす場面もみられ、子育てへの論議を巻き起こしていた。</p>
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<p>PTA との共催として、PTA 会員だけでなく地域の方々の参加も可能にして、地域的な行事として開催した。また、全国でも強豪で知られる本校自転車競技部であるが、その競技の一端を紹介することもでき、関心を高めることができた。</p>
8 主な課題等	<p>当初講演会を本校体育館で開催する予定にしていたが、新型コロナウイルス感染防止及び気温低下による体調悪化を危惧して、急遽会場を本校前にある「あうる京北」に変更した。約1ヶ月前の変更であったが、当日ホールは空いており、使用することができた。講師の栗村氏も理解を示され、12月開催を快く受け入れてくださった。</p> <p>昨年度の反省を踏まえ、年度当初の計画段階では、寒くなる前の11月までに実施することにしていたが、夏休みから2学期当初にかけて新型コロナウイルス感染拡大(第5波)があり、開催を先送りせざるを得なかった。</p> <p>開催時期の設定が難しいことが、講師の選定はもとより、季節によっては会場の確保等が課題となっている。</p>
9 来年度以降の実施予定	<p>現時点では未定である。</p>